



2022年度 年次報告書

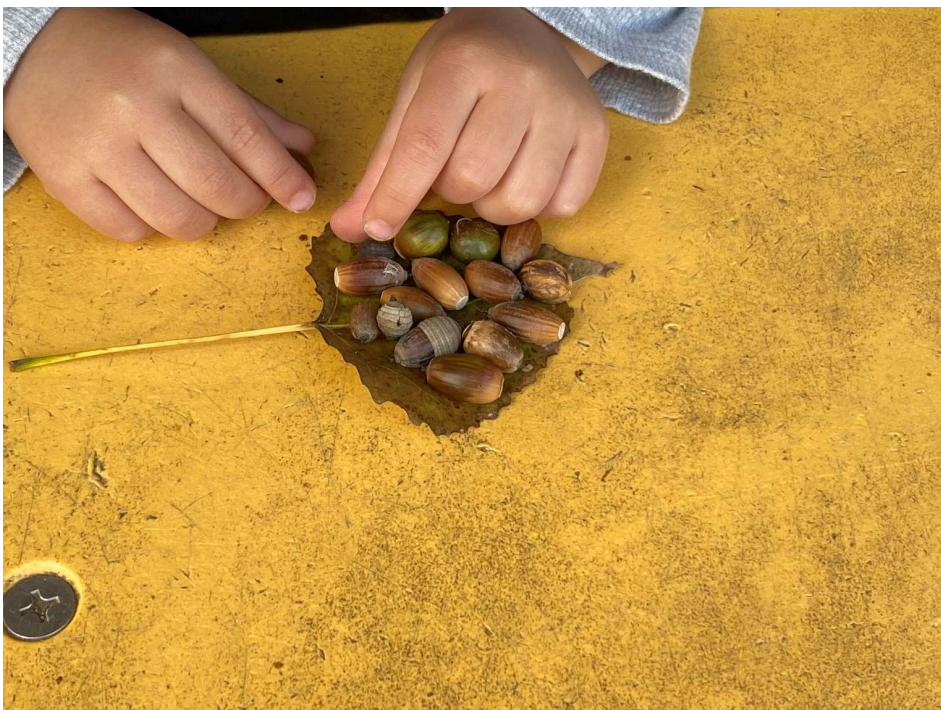
CEN ANNUAL REPORT 2022

〔2022年4月1日～2023年3月31日〕



特定非営利活動法人 子ども環境ネットワーク

未来のおとなたちが、考えている



●サイト URL: <http://ce-n.org>



●Facebook: <https://www.facebook.com/child.env.network/>



●Instagram: https://www.instagram.com/c_e_network/



<2023年06月 NPO 法人子ども環境ネットワーク制作>

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1

「ひと・まち交流館 京都」2F

京都市市民活動総合センター内

「子どもは、どの子も

『神はまだ人間に失望していない』という

メッセージをたずさえて、

この世に 生まれてきた」

～タゴール～

子ども環境ネットワーク

年次報告

Contents

- 05 ごあいさつ
- 06 活動の歩み
- 07 活動報告
- 08 収支報告
- 09 活動計画

子どもたちと
大好きなものを守り
続けるために



 ビジョン

子どもたち自身が大切な景色を見つけ、景色を守る活動考え、行動を起こす..そんな世界を創りたい。

 ミッション

1. 子どもたちが自分の守りたい景色を見つけ出し行動を考えることを可能な限り助力する
2. 子どもたちが、他の地域の子どもたちを知り、大事にしている景色を理解し、行動ができる環境を提供する
3. 子どもたち自身が、自分の守りたい景色を創造し、実現させる



将来の地球を創るのは、未来の世界で生活をする子どもたち自身

 CEN の取組み

| | |
|-----------------------------|---|
| 1. 子どもへの教育支援 | 子どもたちが大事にしたい景色を「考え」「話し合い」「守るための行動を起こす」場をつくる |
| 2. 環境保全支援 | 子どもが考えた、行動を実現させる |
| 3. 子どもたちの考えを実現するための新たな行動を研究 | 子どもたちが行動を起こすために、..行動を実現するために、..必要なことを研究する |

子どもたちによる未来の地球 づくりが始まりました。

2023年、新しい希望の始まりです。

代表理事 大丸 洋一

大丸洋一

ごあいさつ

2022年、世界の活動がほぼ停止する中で、当団体の活動も全てが中止・中断した中からのスタートとなりました。規制、紛争、おとなのエゴなどの中で子どもたちが振り回されるのを見て焦りを持ちました。一方で、子どもたちはキラキラ光る眼と笑顔を持ち続けるのを見て勇気をもらいました。当団体の活動原点を見つめなおし、計画を立て直す良い機会にできました。

2023年に入り、生活も正常に戻りつつあります。そして、苦境の中から、新たな価値観と工夫を学び、さらなる将来に目を向ける力を養うことができたのではないのでしょうか。

特に、子どもたちの行動は苦しい環境の中でも、私たちおとなが襟を正すことが多いと感じました。子どもたちと同じ目線で話し合う重要性、世界の子どもたちが話し合い・地球を考えた提案を受け止める重要性を感じることができました。当団体も「子どもたちで考える活動」が再スタートでき、寄与していきたいと考えます。今後ともご支援よろしくお願いたします。

活動の歩み

2018年に有志が集まり「子どもが実現する環境保全」支援団体として京都市で発足。

2021年3月25日にNPO法人を取得し、活動範囲を全国へ拡大。

2021年度

- ・コロナ禍で釧路市立釧路小学校の学習会は予定通りの実施。一方、釧路市教育委員会2022年度以降事業は中断（3年計画を断念）となる。
- ・京都市立安朱小学校でSDGs学習会を実施。

2022年度

人が集まるイベントや学習会を実施できず。今後の活動準備に積極的に取り組む。

- 学習会およびイベント実施の提案と実施調整
- 子ども食堂コミュニティ支援強化のための環境ゲーム制作
- 中長期計画見直し

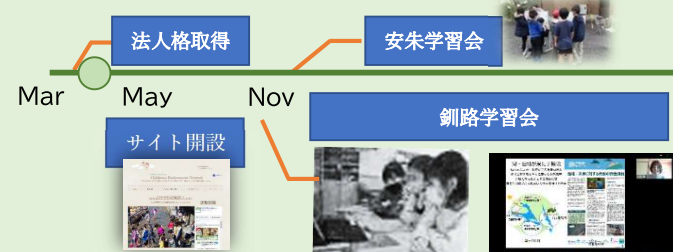
中長期計画見直し

小学校以外の子どもが集まる場所で楽しく活動を行う事業の強化を図り、より多くの子どもたちの参加を促進する予定。また、当初の計画予定の、海外の子どもたちとの意見交換事業が若干遅くなる見込み。

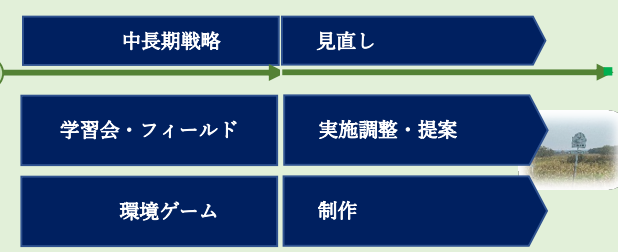
- ・2023年度：子ども食堂や児童クラブでの環境ゲーム展開
- ・2027年度：遠隔地子どもたちの意見交換会実施による事業提案
- ・2030年度：海外の子どもたちとの意見交換会実施

団体活動の歩み

2021年度(令和3年度)

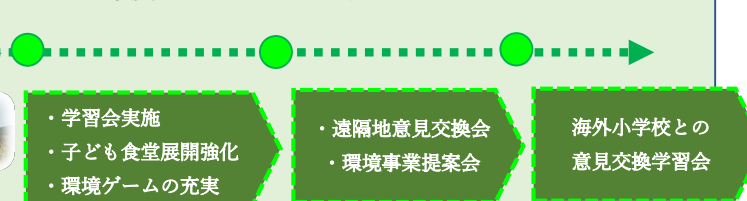


2022年度



(令和4年度)

2023年度



2022年度活動報告

今後、協働していきたいパートナーづくりを積極的に実施しました。

事業報告

1. 学習支援事業

子どもたち自身で自然環境を考える学習会実施調整

- ・ 標茶町教育委員会および標茶小学校：提案するが返答なし
- ・ ユネスコスクールを通じての実施：文科省が難色
- ・ 釧路町教育委員会：5小学校が集まるクラブで実施（令和5年）
- ・ 認定NPO法人霧多布ナショナルトラスト：共同で活動（令和5年）
- ・ 深草こども食堂：ゲーム学習会実施（令和5年）



2. 研究支援事業

子どもたちが参加しやすく、保全提案をしやすい方式を検討

- ・ 自宅やコミュニティでできる環境ゲーム試作（次年度以降テスト展開）



3. 環境保全支援事業

フィールド確保を調整中

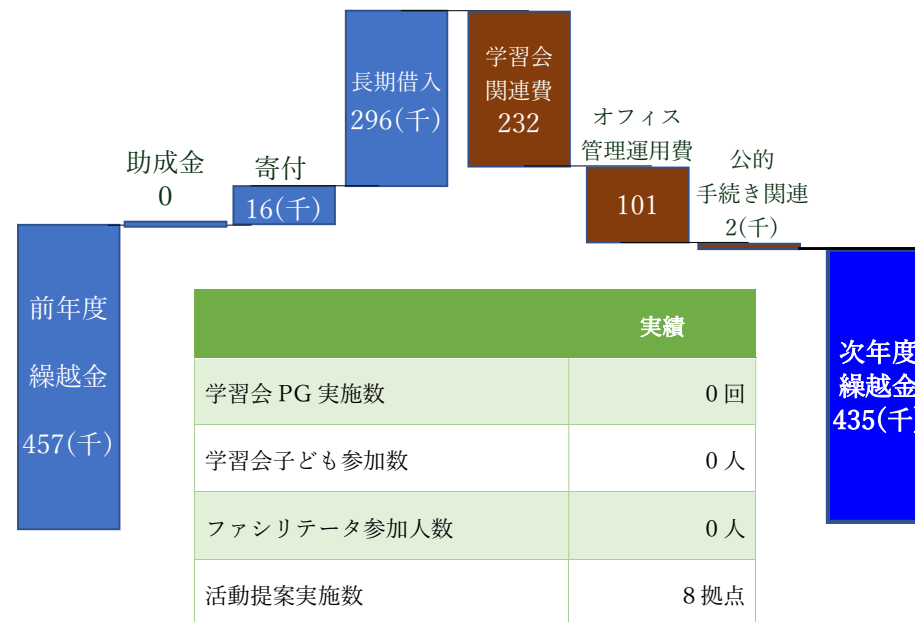
- ・ NPO法人トラストサルン釧路
- ・ 認定NPO法人霧多布ナショナルトラスト



収支報告

本年度は説明のための資料製作費と説明・調整のための移動費用に支出をしました。繰越金は釧路湿原の環境保全活動に充てる予定です。

■収入の部： ¥311,883- ■支出の部： ¥334,328-



■次年度繰越し： ¥434,701-

学習会・フィールド活動実施資金として計上

2023年度以降の方針と計画

方針

小学校への学習会実施と並行に「子どもが集まるコミュニティ(子ども食堂など)」での学習会展開を積極的に拡大し、環境活動の参加者を増加させます。そのため、環境学習の敷居を低くし、楽しく興味をもってもらうプログラム作りをし、自主的な参加を促す仕組みをつくります。

2023年度活動

1. 小学校を主体とした学習会実施と呼びかけは継続して実施
2. 子どもを集めたコミュニティでの学習会実施を計画
 - 1) 鉦路町大好きっこクラブ：生き物探し
 - 2) 京都市深草子ども食堂：環境カードゲーム実施
 - 3) 京都市醍醐子ども食堂：環境カードゲーム実施

2024年～2027年度

1. カードゲームを軸に全国展開、2027年度に景色について話し合いができる場所と機会を創っていきます。
 - 遠隔地の子どもたち同士で楽しく話をし、自分の考えをブラッシュアップし、当たり前で大事なものに気づけるよう取り組みます。
2. ・子どもたちで、環境に関する「提案」をまとめます。
 - 小学校での授業や各種学習会の子どもたちも参加をして、大切なものを守るための行動を考えていきます。
3. 子どもたちの話し合いで考えた「提案(守る行動)」を1つずつ実現させていきます。

<寄付のお願い>

この活動は皆さまの寄付でなっております。
どうか、よろしくお願いいたします。



<学習会構想>

